

大枝中学校通信



令和8年2月2日発行

【3年生 面接練習】

3年生の面接練習を1月22日(木)に行いました。大枝中学校では、入試に面接がない人も全員が対象です。1・2年担当の先生が面接官となり、本番さながらに行います。事前に志望理由や中学校生活のこと、高校でどのように過ごしたいか、高校卒業後の進路等、準備をしていましたが、どうでしたか?準備していたことをすらすら話せた人もいれば、入室の仕方からダメ出しをされた人もいたとか。

面接練習はどこの中学校でも行われています。ですから、だれもがある程度の準備や対策をしてくるはず。まず、一番大切なことは、「この学校で頑張りたい」という気持ちをしっかりと態度と言葉で伝えることです。その場だけの取り繕った答えは、どこかでボロが出ます。学年の先生から面接の振り返りをしてもらったと思います。今一度確認をして本番に臨んでください。

進路を拓け!



3月行事 ～主な予定～

- 2日(月) 公立中期選抜一括出願
- 5日(木) 公立中期選抜前日指導
- 6日(金) 公立中期選抜 3年特別時間割
専門委員会
- 9日(月) 3年特別時間割(～12日)
3年生送る会合同リハーサル(5限1・2年)
- 10日(火) 3年生を送る会(2・3限)
公立中期追検査 部活動停止
- 11日(水) 卒業式予行(2・3限)
- 12日(木) 卒業式準備
- 13日(金) 第37回卒業証書授与式
- 16日(月) 部活動停止
- 17日(火) 公立中期選抜合格発表
- 18日(水) 球技大会(2年:1・2限、1年:3・4限)
クリーンディ
- 19日(木) 修了式
- 30日(月) 離任式

2月行事予定 ※変更することがあります。

1	日	
2	月	
3	火	専門委員会 公立前期選抜一括出願
4	水	
5	木	小さな巨匠展(～8日)
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	3年私学・公立前期入試激励会
10	火	私学入試(基準日) 3年特別時間割 1・2年テスト週間 学習相談① 1組小中交流会(午前)
11	水	建国記念の日
12	木	1年ジョイジョブランド 学習相談② 学校運営協議会
13	金	公立前期選抜事前指導 学習相談③ 給食3月分 Web 申込締切
14	土	
15	日	
16	月	前期選抜 3年特別時間割 学習相談④
17	火	1・2年定期テストIV① 再登校禁止 前期選抜
18	水	1・2年定期テストIV② 再登校禁止
19	木	1・2年定期テストIV③ 再登校禁止 公立前期選抜追検査 学校保健委員会
20	金	1組校外学習 専門委員会
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	公立前期選抜合格発表
25	水	2年修学旅行説明会(6限) 公立中期選抜最終願書点検
26	木	
27	金	
28	土	



1月後半から居座り寒波到来で、京都にも大雪警報が発令されました。気温も氷点下となる日もあり、日中も気温が上がらず本当に寒い日が続きました。登校時は道路の凍結も心配されます。十分気を付けてください。

また、インフルエンザ等の感染症予防もしていきましょう。手洗いをしっかり行い、空気の乾燥にも注意しましょう。また、「免疫を高める」ことも大切です。3年生は受験のために無理をしてしまうこともあるかもしれませんが、本番に向けて万全の体制での臨むためにも、規則正しい生活（食事・睡眠・運動・休養等）を自分で管理できるようにしましょう。もちろん、1・2年生の皆さんもです。2月には最後の定期テストもありますからね。

3学期が始まったころ、3年生の教室では卒業までのカウントダウンカレンダーづくりが行われていました。担当した月日の出来事や、それぞれの思いを書き込んでいる人もいました。ちなみに今日を含めて登校日数でみると、卒業式までは28日、修了式までは32日となるようです。

ことわざで、

『一月往ぬる 二月逃げる 三月去る（いちげついぬる にげつにげる さんげつさる）』

と、お正月から三月まであっという間に過ぎてしまうことを、月の頭文字に掛けて「往ぬる、逃げる、去る」と調子よく表現したものがあります。この3学期を過ごすにあたり、次のステップアップのための準備や最高学年として、先輩としての心構えの期間として「0学期」とも言われていましたね。心構えとしてわかってはいても何からという人も多いかもしれません。そんなときは、学習に向かう姿勢や日々の生活で、小さな目標をたててみるのはいかがでしょうか。「遅刻はしない」「苦手なことから逃げずに立ち向かう」「掃除を丁寧にする」「ありがとうの言葉を一日一回」等、簡単なことでも毎日続けることって、意外と難しいものですからね。

じつはサクラが花の芽を作るのは、前年の夏である。このときにもう、来年の花が作られはじめてるのである。サクラの花は暑い夏に作られて、寒いときにふくらみ、暖かくなって開くのだ。

暖かくなるとサクラが開花します。でも、サクラの花のつぼみは、暖かくなってからふくらみ始めるのではないのです。つぼみは、寒い冬の間にふくらみ、そして暖かくなって花開くときを待っているわけです。

人間の成長をサクラの花に例えてみると、厳しい寒さの冬につぼみをふくらませることが、つらい困難な時期に人は成長するといえます。

開花を出力とするなら、つぼみをふくらませることを入力とも考えられます。人生は順風満帆とは進まないものです。うまくいかないとき、嵐のとき、寒くつらいときもあるでしょう。そのときは、自分の中にいろいろなものを蓄え、ふくらませるといいのです。やがて、物事がうまく回り出すときが来るでしょう。そのときこそ、これまで自分が蓄えたものも出力するときなのです。

日高敏隆『春の数えかた』（抜粋）



桜の成長を人の成長に例えたものです。寒い冬の一定期間を寒さにさらされることで満開の日を迎えるのです。この時期がうまくいかないと満開になるまでに時間がかかったり、満開になる前に葉桜になることもあるようです。

人の成長は桜のように毎年、目に見えるものとは限りません。中学を卒業するとき、5年後やもっと先かもしれません。毎日繰り返していることでも、決して同じことはありません。日常を自分自身が意識して取り組むことで、プラスαの蓄えができるかもしれません。将来を見据えて、令和7年度や義務教育をどう終えるかは、自分自身の心の持ちようかもしれませんね。